

つながる・かかわる

災害時の一瞬の出来事が大きな恐怖と混乱を招き、心身ともに大きなダメージを受けます。つらいとき、悲しいときに、生きぬこうとする強い気持ちは、人とのつながりや語り合いなどの中から芽生えることが多いです。

平常時から地域とつながる

日々の暮らしの中で、趣味などを通じて、気の合う友達づくりやネットワークづくりを進めておくと、災害時に大きな力となります。

町会のお祭りや防災訓練など地域のイベントに参加する

地域の子育てサークルやボランティア活動など、また祭りや運動会といった地域の行事に進んで参加し、地域の方々と顔見知りになっておきましょう。地区社会福祉協議会が開催している「子育てサロン」もお勧めです。

子育てサロンでは、育児相談や育児に関する情報提供のほか、親子同士の交流の場を提供しています。

自分からも地域へかかわろう

近隣の方々に日ごろから挨拶をするなど、頻繁にコミュニケーションをとることで地域の方々と顔の見える関係を築き上げましょう。



子育て中の親子の交流や 仲間づくりの場としても、ご利用ください

子育て支援センター

就学前の親子が自由に遊んだり、顔なじみになった親子と友達になって、情報交換したりすることができます。妊娠している方も利用できます。

●南本町子育て支援センター

船橋市南本町 10-1

☎ 047-434-3910

●高根台子育て支援センター

船橋市高根台 2-1-1

☎ 047-466-5666

児童ホーム

親子で参加できる行事も行っており、親子同士の情報交換や友達づくりの場として活用できます。市内には21か所の児童ホームがあります。市ホームページをご覧ください。

災害時の SNS の情報はうのみにしない

» 個人的な発言であることを理解する

一部の公式アカウントを除き、ツイッターなどのSNS（ソーシャルメディア）で手に入る情報のほとんどは、一般の人による個人的な発言です。事実誤認や誤解などが起こる可能性も高いので、その情報を元に行動してけがなどをしても、情報を発信した人などは、何も保障してくれません。

» デマが発信される可能性もある

誤報だけではなく、混乱に乗じてデマが流されることもあります。いかにもありそうなもっともらしい話ほど、デマである可能性が高いので気をつけましょう。



船橋市の防災情報を入手しよう

船橋市は、さまざまな広報手段により、防災に関する情報を発信しています。常日ごろから確認しておきましょう。

船橋市ホームページ

災害時の緊急情報など、船橋市に関するさまざまな情報を発信します。

「防災ハンドブック」も掲載しています。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/>

船橋市携帯サイト「モバふな」

船橋市が運営する携帯サイトです。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/mobile/>



船橋市公式ツイッター

船橋市のホームページから配信される新着情報を自動で収集し配信しています。「防災行政無線の情報」など、安全・安心に関する情報なども配信しています。

公式アカウント
[Funabashi_city](https://twitter.com/Funabashi_city)



ふなばし情報メール「ふなばし災害情報」

船橋市は、風水害や地震などの自然災害、避難所の開設状況などを登録の方にメールでお知らせしております。

まだ、登録されていない方は、右記コードを読み取り、空メールを送信し、本登録サイトより登録をお願いします。



災害緊急情報 「ふなばし防災エリアメール」

NTTドコモの「エリアメール」、KDDI(au)およびソフトバンクの「緊急速報メール」に対応している携帯電話（スマートフォンを含む）に一斉に避難や災害情報の配信を行います。

J:COMチャンネル船橋・習志野
地デジ 11 チャンネル
(ケーブルテレビ)

番組やデータ放送を通じて、緊急情報を提供します。

家族との連絡方法を確認しよう

災害時、多くの人が困ったのは家族と連絡がとりあえなかつたこと。平日の日中は、家族がばらばらの場所で過ごす場合もあるでしょう。災害時にどのように連絡をとりあうのか、また、どうしても連絡がとれない場合にはどうするかも、話し合っておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

メッセージ
を残す

1 7 1

▶ 1

自宅（被災地）の電話番号

メッセージ
の録音

メッセージ
を聞く

1 7 1

▶ 2

伝言を聞きたい電話番号

メッセージ
の再生

※音声ガイドに従って操作してください。

携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板サービス」の使い方

公式メニューから
専用アプリから
災害用伝言板に
アクセス

「災害用伝言板」
を開く

伝言を登録
する場合 「登録」を選択して
伝言を入力
(全角100文字以内)

伝言を確認
する場合 「確認」を選択して被災
地の人の携帯電話番号
を入力して伝言を見る

※「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板サービス」は、毎月1日、15日、防災週間（8/30～9/5）、防災とボランティア週間（1/15～1/21）などに体験利用ができます。いざという時に備えて、体験しておきましょう。

!
メールやソーシャル
メディアを組み合わせる

携帯電話・スマートフォンのメールやFacebookやLINE（既読で生存確認ができる）などのSNS（ソーシャルメディア）やTwitterなどは、東日本大震災でも安否確認に活用されました。

!
遠方の親せきなどを
中継点にして連絡をとろう

事前に、遠方に住む親せきなどにお願いして、災害時に家族の安否確認の中継点になってもらえるようにしておきましょう。複数の連絡拠点を設けておくのが理想です。